令和5年舞鶴市議会3月定例会

一般質問資料
[山本 治兵衛 議員]

印身を切る改革の断行

・市長報酬3割カット・市長退職金約2,000万円をゼロ

京都维納金

推薦候補

回次世代への徹底投資

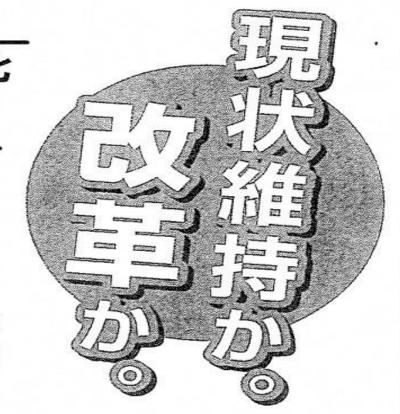
・学校給食の無償化・15歳までの医療費無償化

回安心、安全と健康医療の実現

- ・地域医療の課題にリーダー自らが奔走
- ・舞鶴に必要な診療数、医師の確保

「市政を変えてほしい」という多くの市民の皆様から声を受け、市議会議員を辞職し、改革の先頭を走る覚悟をしました。

いま舞鶴市は、財政悪化、著しい人口減少、基盤産業の衰退、地域医療の後退、市政の中枢である市役所の閉塞感など、多くの課題が山積しております。更に舞鶴市議会議長の不祥事などもあり、このまちに明るい希望が見出せるでしょうか。



今こそ市政を変える改革が必要です!

令和5年3月定例会 一般質問資料②

毎日新聞(2月23日):「赤れんが」整備ストップ ゼロベース精査、検討へ

・ゼロベースで見直す事業の真っ先に挙げたのが「赤れんがパーク整備事業」

産経新聞(2月23日):赤れんが整備事業費は一部保留

- ・自分の考え方が出せたのは30%
- ・選挙戦で訴えた赤れんがパークでの「地方創生拠点整備事業費見直し」は当初予定から5億円分を保留

京都新聞(2月23日):赤れんが整備一部見送り 「鴨田カラー」発揮へ

- ・自分の考え方が出せたのは30%
- ・舞鶴赤れんがパーク周辺整備事業は一部費用の計上を見送り、事業内容を精査する

舞鶴市民新聞(2月24日):新市長 はじめの一歩

公約は必ず守ると明言「是々非々の議会」実現なるか

・是々非々で建設的な議論をすることが重要とし、従来の与野党に分かれた議会体質からの脱却が必要